

SHIRAKOBATO

# しらこぼと

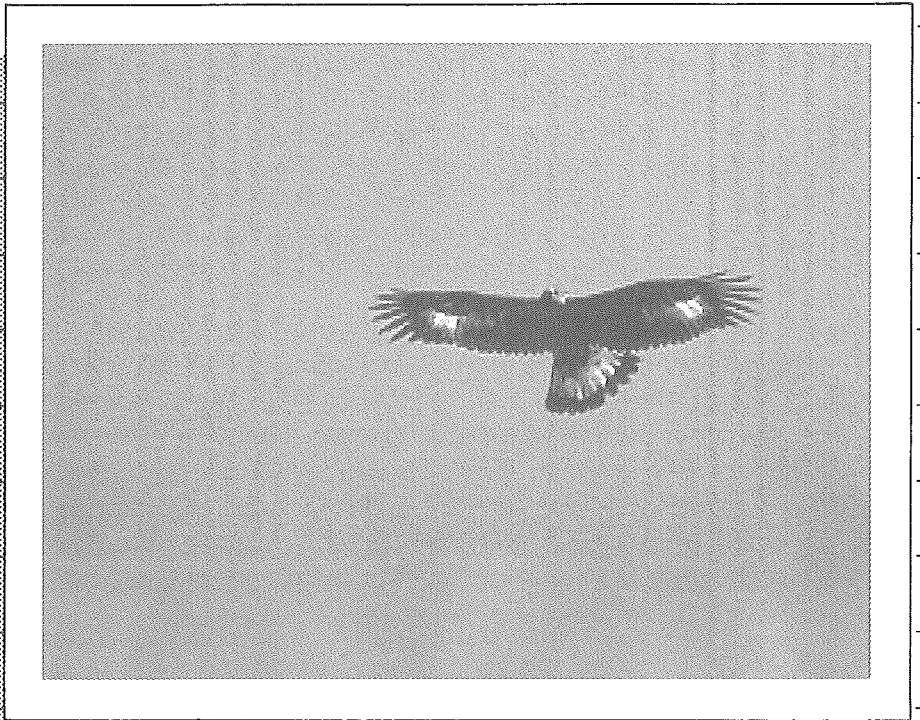


2002.

11

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 223

日本野鳥の会 埼玉県支部

# Costa Rica へまた行きたい

山部 直喜 (三郷市)

『しらこぼと』の編集作業をしながら、「あの人は、今、ガラバゴスへ行っているらしいよ」とか「この人はロタ島から帰ってきたばかりだよ」などの話を聞いていると意味もなく煮詰まってくる自分分かるんです。「人の話を聞いているだけではおもしろくないな、自分も行ってこよう」と20年ぶりに海外の鳥見へ行ってきました。

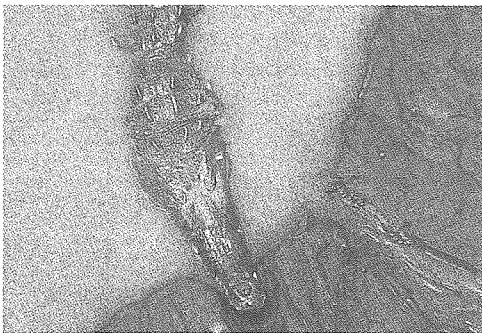
## 行き先はコスタ・リカ

北アメリカが細くなって南アメリカにつながるあたりにある九州と四国を合わせたほどの広さの国だ。申し込んだツアーは鳥見だけが目的ではないエコ・ツアー。時期は8月末で当地は雨季。

目的の一つのケツァールには会えなかったけれど、また、ヒゲドリはちらっとしか見られなかったけれど、1カ月以上たった今でも、気が付くとコスタ・リカのことを考えている。見たことのない鳥だらけ、だから楽しい

見たことのない鳥というのは、見ただけでストレートにうれしい。あの大きな嘴をしたオオハシ類もあの特異な顔のインコ達もここではみんな違和感なく野鳥だ。

3ページ下段のリストは今回のツアーで出た鳥だ。和名の前の数字は、コスタ・リカの野鳥定番図鑑『A GUIDE TO THE Birds of Costa Rica』の図版ページとその図の番号だ。例えばコスタ・リカの国鳥バフムジツグミは図版39ページの第8図だ。このリストは世界鳥類和名辞典を使用して、行く前と帰ってから多くの時間をかけている。自分だけでは勿体ないので、これから行く人には是非参考にさせていただきたい。役に立つこと受け合いだ。



クロコダイル



ナマケモノ

生き物が近い、多い、だから楽しい

ナマケモノに驚いた。ナマケモノといえばジャングルの奥地に生息し、なかなか会えないものと思いこんでいた。それが長距離トラックや路線バスの走る国道の脇の木にいたのだ。しかも家族のナマケモノだ。その後、ナマケモノはあちこちで見た。町の公園の木にもいた。ホエザルやクモザルも移動中のバスの中から見つけた。

ワニだってそうだ。体長4~5mのクロコダイルを国道の橋の上から見るのだ。気をつけないと通る車に引っかけられそうだ。

有名なヤドクガエル(矢毒蛙)も最初にナマケモノを見た場所近くの開けた林にいた。目的の一つのアカメアマガエルは2日目に泊まったロッジにいた。

人がいい、だから楽しい

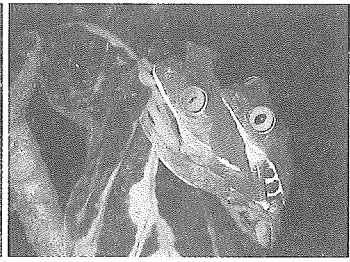
お人好しという意味ではない。いい人が多いような感じがした。国民性のように感じる。一般に日本人が苦手なチップも基本的には必要ない。今回のツアー講師のF氏も10数回訪問していてもチップを払ったことがないという。買い物でのお釣もごまかされたことがない。20年前に初めて海外旅行をした時の国では、お釣は常に少なめ、ホテルでの両替も正確だったことがなかった。その事を考えて



イチゴヤドクガエル



マダラヤドクガエル



アカメアマガエル

も実に気持ちが良い。教育水準も高いとのこと。治安もよい。F氏は「なんとなくシャイなんです。そのへんが日本人に合うんです」と説明してくれた。

それに美人が多い。水を買いにいったある店の女の子は中でも飛び切りの美人だった。私は「どうしたらいいんだろう」などと、訳もなく考えてしまい、で、したことと言えば、もう一本水を買ったことと同行の妻には内緒にしたことぐらいだ。

#### 道具について一言

- ・ 双眼鏡は防水に限る。

- ・ 望遠鏡は森の中では傾斜型が具合がいい。
- ・ デジタルカメラは海外旅行に最適だ。必要のないカットは移動中に消し最終的には200カットを残した。帰国後の写真交換会には、その中から60カットをCD-Rに入れ、人数分用意し(それでも一人70円以下)、大変喜ばれた。

#### 「コスタ・リカにはまた行こう」

と妻と話し合っている。その時はケツァールに最適の時期を選び、ヒゲドリが鳴いたときに3本の肉ヒゲがふくらむという話を確かめる予定だ。

- |                   |                    |                  |                     |
|-------------------|--------------------|------------------|---------------------|
| 1—5 オオグンカンドリ      | —8 ワライハヤブサ         | 26—2 オグロキヌバネドリ   | 38—14 ハイムネモリミソサザイ   |
| —6 アメリカグンカンドリ     | 18—1 オビバト          | —4 オレンジキヌバネドリ    | —18 イエミソサザイ         |
| 4—1 カッシュクベリカン     | —5 コバシバト           | 27—1 クビワヤマセミ     | —23 ウスグロチャツグミ       |
| —3 アメリカヘビウ        | —6 ソライロアルキバト       | —4 オオミドリヤマセミ     | 39—8 バフムジツグミ(国鳥)    |
| —4 ナンベイヒメウ        | —14 シロビタイシャコバト     | —5 ミドリヤマセミ       | —17 ボウシアオカケス        |
| —6 アメリカトキコウ       | 19—1 コンゴウインコ       | —8 ハチクイモドキ       | —19 チャイロカケス         |
| —7 ベニヘラサギ         | —6 コボウシインコ         | —16 アカハムナフチュウハシ  | 40—7 メジロヒメモズモドキ     |
| —8 シロトキ           | —9 アカミミインコ         | —17 キバシミドリチュウハシ  | —20 ミスジアメリカムシクイ     |
| —10 アオアシトキ        | —10 アカビタイメキシコインコ   | —18 サンショクキムネオオハシ | —24 マミジロミツドリ        |
| 5—3 シラガゴイ         | —11 チャムネメキシコインコ    | 28—1 エダハシゴシキドリ   | 42—2 キイロアメリカムシクイ    |
| —7 アカクロサギ         | 20—7 シロクロヒナフクロウ    | —14 ホオグロミヤビゲラ    | —7 ベニタダキアメリカムシクイ    |
| —9 ヒメアカクロサギ       | 21—7 リスカッコウ        | —17 シロビタイシマセゲラ   | 44—5 クロズキンムドリモドキ    |
| —10 ユキコサギ         | —9 ミゾハシカッコウ        | 29—5 キボウシヒゲオカマドリ | —8 オオツリスドリ          |
| —13 アマサギ          | 22—3 クリエリムジアマツバメ   | —8 シマガシラオニキバシリ   | —15 クロコウウチョウ        |
| —16 ハゲノドトラフサギ     | —9 ノドジロハリオアマツバメ    | —15 ハシプトオニキバシリ   | —16 オナガクロムクモドキ      |
| —17 ズグロトラフサギ      | —12 ツバメ            | 30—12 アカガオカマドリ   | 45—14 マミジロヤブフウキンチョウ |
| 6—2 アメリカササゴイ      | —22 スミレミドリツバメ      | 31—11 クリセアリドリ    | —18 ヨゴレフウキンチョウ      |
| —18 アメリカレンカク      | 23—1 コビトユミハチドリ     | 32—3 ハイロヒメアリサザイ  | —19 ヤシフウキンチョウ       |
| 10—5 ミズカキチドリ      | —2 ユミハシハチドリ        | 33—4 オナガセアオマイコドリ | 46—12 サザナミフウキンチョウ   |
| 11—8 アメリカイソシギ     | —9 ムラサキケンバネハチドリ    | 34—1 サカツラハグロドリ   | —15 スライロフウキンチョウ     |
| —11 ミユビシギ         | —12 ドウイロハチドリ       | —12 ヒゲドリ         | 47—4 コシアカフウキンチョウ    |
| 12—1 ハイガシラヒメシャクケイ | —15 ミドリボウシテリハチドリ   | 35—1 オリーブタイランチョウ | 48—3 ハイロイカル         |
| 13—3 ヒメコンドル       | —16 アオノドハチドリ       | —7 ハイロタイランチョウ    | —15 キノドヤブシトド        |
| —4 クロコンドル         | 24—5 シロハラシロメジリハチドリ | —12 オオハシタイランチョウ  | 49—6 キマユクビワズメ       |
| 14—10 クビワモリハヤブサ   | —7 ノドムラサキシロメジリハチドリ | —13 キバラオオタイランチョウ | —10 ヒメコメワリ          |
| —12 カラカラ          | 25—2 コスタリカハチドリ     | —16 シロハチマキヒタキモドキ | 50—13 アカエリシトド       |
| 15—2 ツバメトビ        | —17 ドウボウシハチドリ      | —21 オリーブヒタキモドキ   | —16 ヒガシマキバドリ        |

# 2002年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日時：2002年9月14日 9：40～11：40

場所：さいたま市 大久保農耕地

天候：雨時々曇り

当日は秋雨前線が太平洋側まで南下し、北東の空気が入り込んだため、肌寒い日となりました。また、3連休の初日でしたが、支部会員11名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された種数・個体数は3種23羽でした。今回もムナグロは観察されませんでした、久しぶりにノビタキが3羽観察されたことをつけ加えておきます。

グラフは秋のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

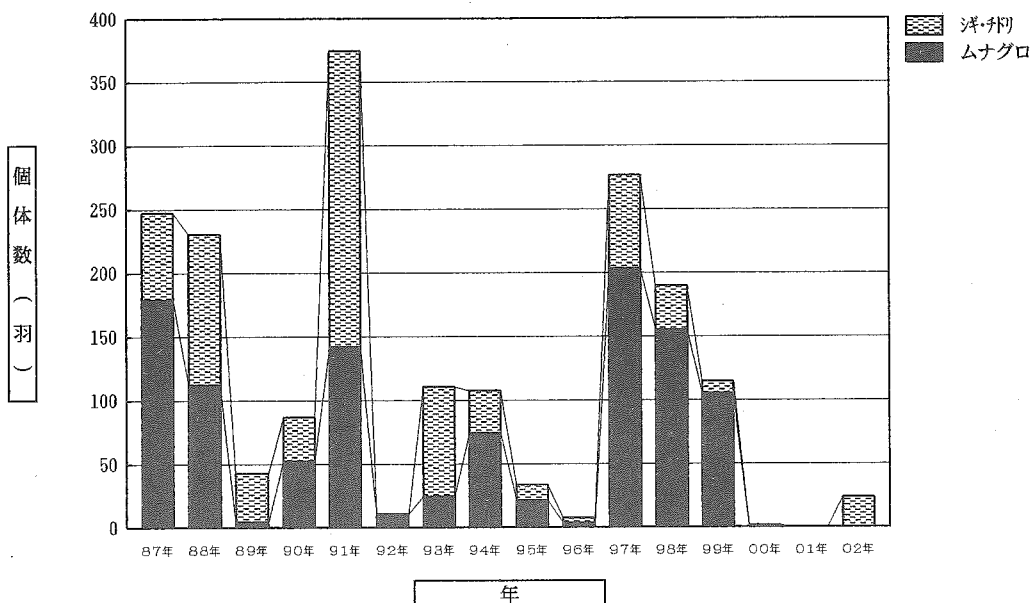
(注) シギ sp. はジシギ sp. かタシギのどちらかなので、種数に入れませんでした。

(石井 智)

1999年～2002年 秋のシギ・チドリ類調査結果

調査地	大久保農耕地 さいたま市			
	'99年	'00年	'01年	'02年
鳥類				
ムナグロ	105	—	—	—
タカブシギ	—	—	—	3
ホウロクシギ	1	—	—	—
コシヤクシギ	—	—	—	—
タシギ	6	—	—	17
オオジシギ	—	1	—	—
ジシギsp.	1	—	—	3
シギsp.	1	—	—	—
個体数合計	114	1	0	23
種数合計	4	1	0	3

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年 度	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	合 計
調 査 日	9/15	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/15	9/14	
天 候	晴れ	曇り	晴れ	雨	雨	曇り	曇り	雨	雨	晴れ	雨	曇り	晴れ	曇り	曇り	雨、曇り	
1 タマシギ					1												1
2 コチドリ		26						11	1		13						51
3 シロチドリ				2	2												4
4 ムナグロ	179	112	4	52	142	10	24	74	21	3	203	155	105				1084
5 ケリ		2															2
6 キョウジョシギ					2												2
7 トウネン					2		2										4
8 ヒバリシギ		1															1
9 エリマキシギ											1	2					3
10 クサシギ	1	1			1			1		1							5
11 タカブシギ	36	15		12	17						4					3	87
12 イソシギ					5		1				1						7
13 ホウロクシギ													1				1
14 コシヤクシギ												6					6
15 タシギ	29	72	38	20	185		80	19	11	1	51	24				17	547
16 オオジシギ										2				1			3
ジシギ属	2	1			8			2			1	2	1			3	20
17 アエリヒラシギ					9												9
チドリ類											1						1
シギ類													1				1
合 計	247	230	42	86	374	10	107	107	33	7	275	189	108	1	0	23	1839

栃木県・奥日光探鳥会 (要予約)

期日：11月21日 (木)

集合：午前7時、JR大宮駅西口代々木ゼミナール前。

交通：往復とも貸し切りバスを利用。

帰着：当日午後7時ころを予定。

費用：5,000円の予定 (バス代、高速料、保険料など)。万一過不足の場合は当日精算。

定員：25名 (先着順、県支部会員優先、最少催行人員20名)。

申し込み：普通はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、榎本秀和

まで。

担当：榎本、入山

見どころ：初冬の奥日光を湯の湖畔から湯滝周辺、中禅寺湖・千手ヶ浜周辺を歩くコースで、いつもとは一味違う探鳥会です。降雪も考え、しっかりした足揃えと、雨具・防寒対策もお忘れなく。

はみだし行事案内

ワイルドバード・カレンダー2003発売開始

来年の各月を彩る12点の写真是、総数663点の応募作品の中から選ばれました。

定価税込み1,386円、会員割引価格税込み1,176円のところで、当支部では一律税込み1,170円で販売します。

探鳥会などでお求めください。



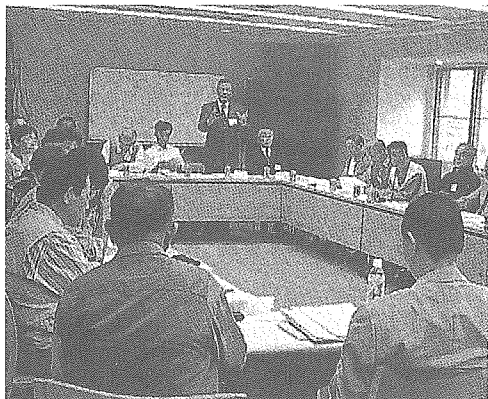
ヘラシギ (手塚正義)

2002年9月11日 船橋海浜公園

## 第26回関東ブロック協議会の報告

日本野鳥の会埼玉県支部 総務部

毎年1回程度、議論、意見交換、懇親などを目的に、関東地区の9支部の代表者らが一堂に会する関東ブロック協議会、今年には神奈川支部主催で9月28日(土)と29日(日)の2日間、横浜市民観察の森に隣接した上郷・森の家で開催されました。



当支部からの出席者は、海老原美夫・藤掛保司・小林みどり・橋口長和・山部直喜の5名。神奈川支部から13名、その他7支部から16名、本部から小杉隆会長・鈴木正男常務理事を含めた5名、合計39名が集まりました。

会長が関東ブロック協議会に出席するのは初めてのことで、本会が現在進んでいる方向についての会長挨拶から会議は始まりました。

各支部の挨拶・近況報告では、1年間の『しらこぼと』抜粋資料を配布して、海老原が報告しました。

前回議事録・各支部連絡先・次年度正副幹事支部といつもの確認作業が終わって、最初の議題は「各支部での保護活動」。

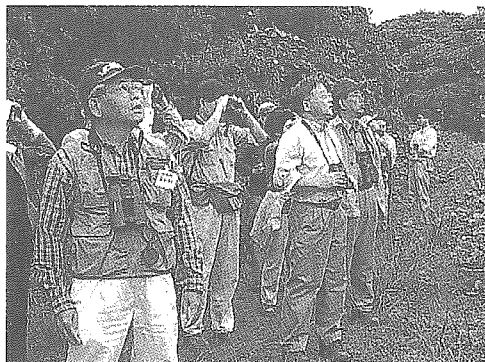
主なものは、群馬県支部の尾瀬携帯電話局設置・谷川岳ロープウェイ建設、東京支部の横沢入り・高尾山、栃木県支部の有害鳥獣駆除、奥多摩支部の永山丘陵、千葉県支部の成田・三番瀬・カワウなどの問題でした。

中でも、谷川岳ロープウェイ建設問題では、近い内に群馬県支部から各支部に署名運動協力をお願いしたいとの話がありました。

次の議題は「本部支部のあり方について」。各支部がNPO法人化を目指すかどうか、NPO法人になれるのかどうか、が主なテーマになりました。今のままでは、各支部がそのまま

NPO法人として認可される見込みは少ないという見解が示され、当支部としては、かつての旧埼玉県支部が委託事業契約を欲しいために無理に財団法人化をして、支部廃止になった20年ほど前の実例を報告しました。

2日目は、早朝の横浜市民観察の森視察から始まりました。



飯塚利一レンジャーの案内で、充実したボランティア組織に関する話しなどを、興味深く聞きました。

2日目の議題は、「会員減少について」。

各支部の実情や会員増加のための様々な努力が報告されました。

次回、茨城支部主催の会議での再開を約して、解散は正午ころでした。



左から、橋口長和・山部直喜・小林みどり・藤掛保司

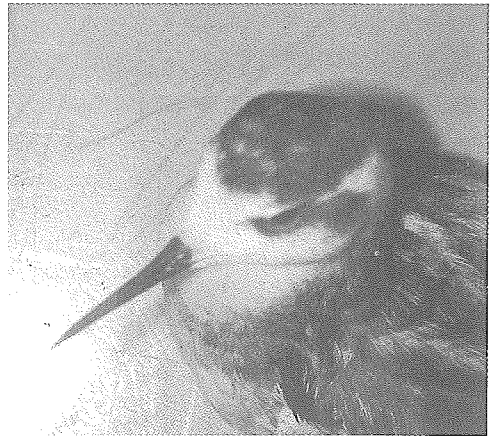
**坂戸市入西調整池** ◇9月10日午後1時頃、三浦氏とヨシゴイを見に、池の周囲を歩きながら探す。池の上空に大形猛禽の飛翔を見た。トビ? いや違う、その内、池の中にダイビング、ヘラブナ? を掴んだ。ミサゴだ、魚を掴んだまま、私の頭上に舞い上がった。その内、ハイタカが出て、ミサゴにモビング、ミサゴはハイタカに構わず飛び去った。浮島のヨシにとまったアマサギ1羽ひときわ目立った。ゴイサギ幼鳥、ダイサギ、コサギ、カイツブリ、カルガモ等(澤井清)。

**坂戸市高麗川** ◇9月15日夕方、多和田橋下流右岸四日市場地区堤防そばの稲刈りが済んだ田んぼでチュウサギ3羽、盛んに何かを採餌している行動が見られた。9月18日午前9時30分、左岸多和田地区天神橋そばの田んぼでチュウサギ1羽(増尾隆)。

**神泉村城峰山** ◇9月18日午前9時30分~11時、天候：晴れ、北西の風やや強。ハチクマ5羽、ツミ1羽、ミサゴ1羽(堀越省一)。

**岩槻市加倉5丁目** ◇9月15日午後1時頃、自宅近くでモズの高鳴き、一声だけ聞く。その翌週9月22日には、しっかりとした高鳴き(藤原寛治)。

**越谷市西方** ◇9月25日、勤め先2階事務室前のバルコニーにキビタキ♂1羽落鳥。渡りの途中と思われる。体長125mm、翼開長235mm、体重12.5g(1円玉12個分の重さ)。この体で東南アジアを目指す。その距離、約4000~5000km。その体力と本能の不思議に脱帽。そう言えば、去年も同じ日に、トラツグミの落鳥があったことを思い出



た。どうやらこの時期に渡りが盛んに行われているのだろう(山部直喜)。

**越谷市七左町** ◇越谷市環境保全課より「10月2日、七左町にてハクセキレイに似ているが、嘴がもっと細長く、足にヒレがある鳥を保護した」との連絡を受ける。翌日、預けられている動物病院に確認へ。連絡を受けたときの特徴に加え、体色と先細りの嘴の形から、アカエリヒレアシシギの幼鳥タイプと判断(上写真)。台風21号に運ばれたものと推察。しかし、獣医師の「左の翼を複雑骨折している」との話に合掌(山部直喜)。

**さいたま市上野田** ◇9月25日午後5時30分頃、国際興業バスターミナル北側の上空を東から西へサギの群れが飛んで行くのを車の中から見た。ゴイサギ、チュウサギ40~50羽(藤原寛治)。

**さいたま市別所沼** ◇9月26日、今年も暑い暑い内陸を避け、高原別荘地より別所沼へ又、カワセミが帰って来た。あまりきれいではない。カイツブリが2羽いつも遊んでいる。もうすぐキンクロが来るかも。たのしみに(小川力雄)。

表紙の写真

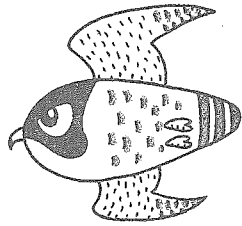
タカ目タカ科イヌワシ属イヌワシ

今年の9月19日、某県でタカの渡りを見ている所に、このイヌワシが出てくれました。若鳥のため両翼に大きな白斑があり、これが、日の丸を付けたゼロ戦のようでした。

写真と文・石井 博(行田市)



# 行事あんない



(何森 要)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちがあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般 100 円、会員と中学生以下は 50 円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後 1 時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集合場所までお出でください。

## 長野県・白馬山麓探鳥会（要予約）

期日：11月2日（土）～11月3日（日）  
定員に達したので締め切りました。

## 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月3日（日）  
集合：午前7時50分、丸山公園北口駐車場。  
交通：JR 高崎線 上尾駅西口 1 番バス乗り場から、西上尾車庫行き（畔吉経由）7：28 発にて「畔吉」下車、徒歩約 8 分。  
担当：大坂、阿久沢（廣）、阿久沢（キ）、永野（安）、永野（京）、山野  
見どころ：早起きは三文の徳。落ち葉を踏みながらの早朝の鳥探しも楽しいですよ。運がよければ期待の鳥？に会えるかも。皆様の参加をお待ちしています。  
ご注意：バス乗り場と発車時刻が変更になっています。

## 羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：11月4日（月・祝）  
集合：午前8時45分、東武伊勢崎線羽生駅改札口、集合後バスで現地へ。または午前9時30分水郷公園駐車場。  
交通：東武伊勢崎線春日部 7：55→久喜 8：09→羽生 8：30 着。または JR 宇都宮線大宮 7：39→久喜 7：59 にて、東武伊勢崎線乗り換え  
担当：中里、和田、田村、宮下、四分一、  
見どころ：木の葉が無いはじめ地面の装いを

変えて行きます。アシ原を渡る風も季節の交替が近いことを告げ始めています。久しぶりの冬鳥たちと再会です。皆で身近の鳥たちを探しましょう。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月10日（日）  
集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷 9：11 発、または寄居 8：49 発に乗車。  
担当：後藤、和田、島田、森本、中里、石井（博）、倉崎、高橋、藤田、栗原  
見どころ：紅葉も終盤を迎え冬鳥の第一陣たちが活発に動き回っています。コハクチョウやカモなどの水鳥、ジョウビタキ、ツグミなども姿を見せてくれるでしょう。ハイキング気分分で気楽に探鳥してみましよう。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：11月16日（土）午後1時～2時ころ  
会場：支部事務局 108 号室

## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：11月17日（日）  
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。  
後援：さいたま市立浦和博物館  
担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、兼元、森（力）、清水、小菅、



新部、赤堀

見どころ：今年はゆっくり歩き、鳥を見てきた。だから鳥談義も歩きながらできる。新しい参加者ともおしゃべりができる。秋たけなわの見沼田んぼは、冬鳥も勢ぞろいしてにぎやか。

### 富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：11月17日(日)

集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口前。

担当：高草木、佐久間、志村、神場、中村(治)、中村(祐)、荒木、山田(義)、杉原、藤沢

見どころ：晩秋の柳瀬川にカモたちが集合。何度見ても感動するタゲリ。中州の日溜りにはタシギが何羽いるかな？ ジョウビタキやツグミなどとの再会を期待しましょう。

### 栃木県・奥日光探鳥会(要予約)

期日：11月21日(木)

詳細は5ページをご覧ください。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月23日(土・祝)

集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス1番バス停前。集合後、8:45発春日部エミナス行きにて

「共栄大学・短大前」下車。または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

担当：吉安、橋口、新井(良)、松永、宮下、吉岡(明)、田村、廣川

見どころ：今年は暑い日が続きましたが、いつものように、晩秋のこの内牧公園にも、冬鳥たちが渡ってきてにぎわいを見せています。ツグミやシメなどとの出会いを楽しみましょう。

### さいたま市・染谷見沼自然公園探鳥会

期日：11月23日(土・祝)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。

担当：工藤、兼元、森(力)、吉岡(洋)、日根、松村、百瀬、渡辺(嘉)

見どころ：この夏見沼田んぼの芝川でタヌキの親子づれ(子ダヌキ4匹)を見ました。まだまだびっくりするほどの自然があります。田んぼに川に池に、そして斜面林に冬鳥たちを探して歩きます。

### 本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：11月24日(日)

集合：午前8時50分、JR高崎線本庄駅北口。

集合後、十王バス新伊勢崎行きにて「坂東大橋南詰」下車。現地集合可。工事中のため今までの場所には駐車できません。

担当：北川、倉崎、堀(敏)、堀(久)、小池(一)、小池(順)、新井(巖)

見どころ：冬が間近い利根川に今年もカモたちは来ているのでしょうか。それはどんなカモたちでしょうか。川面の風は冷たいので防寒対策もお忘れなく。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月24日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:43発、所沢8:36発に乗車。

担当：長谷部、高草木、藤掛、中村(祐)、山本(真)、久保田、山本(義)、石光、山田

見どころ：霜の降りる季節となり、入間川にも冬鳥たちがもどってきました。カモや冬の小鳥たちを探して、3時間ほどの散歩をしましょう。

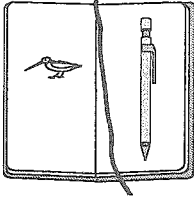
### 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：11月30日(土)

集合：午前8時45分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、中村(榮)、田中、吉安、長嶋、長野、松永、榎本(建)

見どころ：さわやかな朝の空気の中、農村風景を楽しみながら冬の小鳥たちに会いに行きます。枯れ始めたアシ原には小鳥たちの気配。沼には帰ってきたカモと水鳥たち。今年は見沼の貴公子にも会いたいと思っています。



# 行事報告

5月26日(日) 狭山市 入間川

参加: 42人 天気: 晴

カワウ ササゴイ カルガモ ツミ イカルチドリ イソシギ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス (24種) 幸運にもツミを近くで見ることができた。鳴き声で気づき、探してみると小鳥をつかんで止まっている。飛んでいく様子がなく、なんとなく困っているみたい。近くで営巣している可能性があるのに、長居せずにその場を離れた。繁殖期の鳥はデリケート。遠くから静かに見守ろう。(長谷部謙二)

6月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 63人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ オオタカ ツミ コジュケイ キジ バン キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 集合場所で、餌を運ぶツミと上空を舞うオオタカが見られた。子連れのシジウカラ、バン、カイツブリを観察。釣堀ではカワセミも出現。エゴの花は散り、毎年賞味している桑の実も既に地上に落ちていた。今年は季節の移り変わりが早い気がする。(岡安征也)

6月2日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 58人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ キジ バン コチドリ コアジサシ キジバト カッコウ カワセミ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ コヨシキリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズ

メ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 芝川第一調節池の工事も小休止。久々にフルコースを歩く。アシ原に見え隠れするオオヨシキリ、コヨシキリ。工事の影響か、その数を少なく感じる。カルガモの子はついに見られず。救ってくれたのは、すっかり民家園に定着したカワセミ。いつまでも、たくましく生きる探鳥会の大スターであって欲しいと願う。(手塚正義)

6月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 34人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ オオタカ バン キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ シジウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) ビワの実がたわわに稔る小径を抜けてスタートする。踏切を越えるといつも出迎えてくれるはずのホオジロが見えない。最近ではこの周りでキジもあまり出なくなった。途中、森のところでオオタカが現れる。鋭い声で鳴いていた。最後に明戸堰でカルガモの親子連れが皆の目を楽しませてくれた。(中里裕一)

6月16日(日) さいたま市 三室地区

参加: 41人 天気: 曇

カワウ ゴイサギ アオサギ カルガモ ホシハジロ キジ カッコウ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス ハシボソガラス (22種) 梅雨に入った。芝川の葦や草が大きく育って子育て中のカルガモの親子を隠してしまった。そんな見沼たんぼだったが、カッコウが姿を見せてくれて満足。アオサギ、ゴイサギも元気に出現して鳥の数は少なかったが見沼たんぼの梅雨の季節を体験した探鳥会だった。(楠見邦博)

6月23日(日) 羽生市 水郷公園

参加: 27人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ チュウサギ コサギ カルガモ オオタカ キジ コチドリ シラコバト キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 小雨のスタートで先が思いやられたが、幸いにもじきに雨は止んだ。公園の池では、カイツブリの親子連れをじっくり見られた。アシ原の中をしばらく行くとセッカが目の前に止まってくれ、その愛らしい姿を堪能。上空をオオタカが舞う。シラコバトが豊富に出て、初めての人は大いに盛り上がった。コヨシキリが出なかったのが残念。(中里裕一)

6月23日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 40人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ トビ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ キジバト カッコウ ヒメアマツバメ カワセミ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ エナガ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) ヨチヨチ歩く仕草がかわいいと、朝の挨拶地点で、イカルチドリ、コチドリのヒナたちを楽しんだ。集合場所の川角駅では、ツバメの子育ての様子、そして竹やぶにはコジュケイの子連れ、終点ではカイツブリの幼鳥が観察できた。東京より初参加の亀山さんはモズが印象に残ったと喜びを話してくれた。(藤掛保司)

6月29日(土) 上尾市 八枝神社

参加: 11人 天気: 小雨

観察なし(0種) 小雨が降っているけど例年より涼しくて蚊もいない。これでアオバズクが出れば最高なのに。そのうちだんだん薄暗くなってくる。まだ発見できない。せめてシルエットだけでも確認したかったのに終了予定の7時半になってしまった。誠に残念無念である。(大坂幸男)

7月7日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 18人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ バン キジバト コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 梅雨の晴れ間は猛暑だ。電線に止まる鳥たちも口を開いている。時折吹く風は快い。日陰を利用しつつ次の日影に進む。途中全く鳥が出現しない。明戸堰でカイツブリのファミリー、越夏中のマガモを確認。野鳥たちよりタフな参加者に幸あれ。(島田恵司)

7月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 15人

荒木恒夫、伊藤泰一郎、江浪功、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、島田沙織里、島田貴子、志村佐治、陶山和良、原田譲、藤掛保司、藤野富代、増尾隆

7月21日(日) さいたま市 三室地区

参加: 47人 天気: 晴

カワウ ゴイサギ コサギ アオサギ カルガモ キジ コチドリ キジバト カッコウ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス ハシボソガラス (22種) 今年の夏はとにかく暑い。探鳥会の前は天候とそれに対応したコースが頭の中を駆け巡る。朝方少し涼しかったので早目に芝川に出た。でも途中暑くなり、森の中でゆっくりした。ゴイサギの若やカッコウも出て楽しみ、帰りは桜並木を歩いたので涼しく、夏そのものを感じる探鳥会もいいものだった。(楠見邦博)



ホシガラス (松村禎夫)

## 連絡帳

### ●カラス・シンポジウム日程変更

前月号 9 ページでお知らせした東京支部主催の第 5 回カラス・シンポジウムは、11 月 10 日(日)から 11 月 30 日(土)に変更になりました。詳しくは、東京支部 (TEL03-5273-5141) にお問い合わせください。

### ●今年もバードメイトにご協力を

1 口 1,000 円の自然保護、今年のピンバッジはキクイタダキ。1 口に 1 個差し上げます。

『野鳥』9.10 月合併号に同封された振替用紙を使うか、郵便局備え付けの振替用紙に

口座番号 00140-5-98389

加入者名 財団法人日本野鳥の会

通信欄「バードメイト申し込み\_\_口」

払込人の住所・氏名

を記入して、お送りください。バードメイトのご寄付は、様々な活動を支える大切に資金になっています。

お問い合わせは、会員室 (TEL03-5358-3510)

へ。

### ●野鳥の愛玩飼養ストップはがき作戦

今年 7 月に改正された鳥獣保護法を来年 4 月から施行する準備として、省令の作成作業などが現在進められています。

埼玉県では、愛玩目的の野鳥捕獲は認められていませんが、認められている県も多くあります。現在進行中の省令でも引き続き認められるおそれがありますので、野鳥の会としては、この機会に、愛玩飼養の条文を法令から削除するよう、はがきキャンペーンを開始しました。

『野鳥』9.10 月合併号に同封されたはがきを投函してください。

お問い合わせは、自然保護室 (TEL042-593-6872) へ。

### ●ふるさとの川づくり着工式に出席

9 月 25 日(水)、国土交通省の高麗川ふるさとの川整備事業、自然とふれあい・学習するゾーン坂戸市浅羽地区着工式が開催され、招待を受けた増尾隆会員が出席しました。

ここは、鶴舞自治会の野鳥観察会を平成 8 年から続けていて、同氏と坂口稔会員が、こまがわ市民会議のメンバーとして、整備計画策定に関わってきたところです。

### ●11 月の事務局 土曜と日曜の予定

2 日(土) 12 月号編集作業。研究部会議。

9 日(土) 12 月号校正。

16 日(土) 12 月号袋づめの会。

17 日(日) 役員会。

### ●会員数は

10 月 1 日現在 2,641 人です。

## 活動報告

9 月 14 日(土) 校正作業 (大坂幸男、喜多峻次、佐久間博文、藤掛保司、山田義郎)。

9 月 23 日(日) 役員会議(司会:田邊八州雄、各部の報告・本部支部検討審議会・吉野川河口干潟緊急シンポジウム・蓮田市中央公民館講師派遣依頼・その他)。

9 月 24 日(月) 支部報のみの会員宛て 10 月号発送 (倉林宗太郎)。

## 編集後記

関東ブロック協議会の際、私は群馬県支部の「野鳥密猟者の逮捕時に手錠をかけた」との報告に注目した。この手錠という対応は、110 番通報ゆえと推察する。埼玉県では、110 番通報はその内容まで情報公開条例の対象と聞いている。だから群馬県でも、警察も厳しく動かざるを得なかったのでは……。もしも密猟者であると確信できたら、110 番すれば効果がありそうと思うのは、私だけだろうか。(山部直喜)

しらこぼと 2002 年 11 月号 (第 223 号) 定価 100 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒336-0012 さいたま市岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamabezuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社